

こと」の二つが重要となる。ESDパスポートが持続可能な社会づくりの担い手を育むためのツールとして活用されることになれば幸いである。

中之条ユネスコ協会

芳ヶ平湿地群ラムサール条約登録

五月二十九日、平成二十四年から目指してきた芳ヶ平湿地群のラムサール条約登録が実現しました。(ラムサール条約特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約)

県の北西部、中之条町と草津町に広がる草津白根山の火山活動に大きく影響を受け形成された湿地、河川、池沼群である芳ヶ平湿地群が、ホンカワモズクやモリアオガエルなどの貴重な動植物が生息する豊かな生態系や火山によってできた特異な形成過程などを有するとして、国際的に認められたこととなります。

ラムサール条約の目的は、「保全・再生」「賢明な利用」「交流・学習」と言われています。貴重な生態系を「保全・再生」するのはもちろんですが、そこから得られる恵みを「賢明な利用」として活用し、「交流・学習」を通じて広めていくことも重視されています。このことはユネスコ会員綱領における「教育・科学・文化の発展に務めよう」に通じるものであると思っております。

湿地は多種多様な動植物の生息地であり、私たちの暮らしを支える貴重な資源です。芳ヶ平湿地群を今後も適切な管理

により自然環境の保全、活用を行い、より多くの人がその価値を認め、訪れる場所になってほしいと願います。



大泉ユネスコ協会

平成二十六年度は当工協にとりましては、設立二十周年記念行事もあり大変な年でした。その節は各工協の方々にお世話になりお陰様で乗り切ることができ、次の周年にむけ気持ちを新たにしている所です。また群馬県ユネスコ連絡協議会第一回理事会においても、新たな取り組みで議題になったESDへの予算や姿勢等について沢山の考え方、議論が出されました。導入して評価が上がった学校の例・学校現場での実情等受け取る側にも多くの課題、問題点等が浮かび、時間をかけて方向を選択させることが必要で

す。再生可能な生活、地球規模でのスケールで世界中が議論して、総論は方向性は決まっていますが、具体的目標となると課題が噴出でまるとりません。身近なできること実践できることから、例えば安中総合高校で実践しているようなことや、三菱総合研究所の自治体単位での実践などは良き例だと感じます。先のとつもなく長い課題です。じっくりしっかり選択していきましょう。

大泉ユネスコ協会の行事に、世代間意見発表会があり、中学生の女子が発表した中に江戸しぐさの話があり、すごく感心したことを思い出しています。日々のくらしのマナーが一番大切なのかも知れません。一つひとつの行事を通して再生可能な社会に近づけたらと考えています。八月五日(水)にはそんな思いを込めて国際理解バスを出します。大泉町三校の中学生と筑波国際センターで、海外研修生のみならず

と昼食をとりながらの英語での会話、うま〜くコミュニケーションができますように！その後宇宙センターへ。行事を通じて次の世代を担う子供



たちの生活環境の向上が良い方向へと願っています。

ユネスコスクール委員会の発足

平成二十七年県ユ連の総会以来、ユネスコスクールについての意見交換が活発に行われるようになりました。

これらを踏まえ、去る七月二十四日前橋市において「ユネスコスクール委員会」の発足に向けての準備会が開かれました。

関口会長の纏めやくよろしく、正式に委員会発足の運びとなりました。九月四日開催予定の県ユ連理事会において提案、説明後承認されるものと思われま

ユネスコスクール委員会委員

- 委員長 岸 正博 藤岡地方工協
- 副委員長 庭屋 崇 前橋工協
- 同 樋口 克己 高崎工協
- 同 小林 照夫 沼田工協
- 同 矢野 薫 安中碓氷工協

川あどがき

連日の猛暑ですがお変わりございませんか。残暑お見舞い申し上げます。今回は原稿の集りが好調で、嬉しい悲鳴と共に一部原稿の修正や写真の制愛等も余儀なくさされました。該当の工協に対しましては深くお詫び申し上げます。

編集・発行

群馬県ユネスコ連絡協議会
発行責任者 関口 実
群馬県太田市牛沢町一九三二一
電話〇二七六一三八一〇六三五